

株式会社やまや

2025年3月期

決算説明資料

2024年4月1日～2025年3月31日



宮城県仙台市宮城野区榴岡3丁目4-1

アゼリアヒルズ19階

TEL 022-742-3114(経理部)

FAX 022-742-3100

第1部：連結 2025年3月期 決算業績

連結 2025年3月期 実績

■ 売上高	1,601.6 億円	(前年同期比	△0.1%)	
■ 営業利益	54.2 億円	(前年同期比	△14.1%)	
■ 経常利益	55.6 億円	(前年同期比	△13.1%)	
■ 親会社株主に帰属 する当期純利益	36.4 億円	(前年同期比	0.7%)	
■ EBITDA	68.7 億円	(前年同期比	△10.9%)	※EBITDA=経常利益+支払利息+減価償却費+のれん償却額

単位: 百万円

	2024年3月期(前期)		2025年3月期(当期)					
	実績	構成比	業績予想	構成比	実績	構成比	予想比	前期比
売上高	160,335	—	166,000	—	160,164	—	△3.5%	△0.1%
売上総利益	46,358	28.9%	48,422	29.2%	46,842	29.2%	△3.3%	1.0%
販管費	40,039	25.0%	42,022	25.3%	41,416	25.9%	△1.4%	3.4%
営業利益	6,319	3.9%	6,400	3.9%	5,425	3.4%	△15.2%	△14.1%
経常利益	6,402	4.0%	6,500	3.9%	5,566	3.5%	△14.4%	△13.1%
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,617	2.3%	3,700	2.2%	3,644	2.3%	△1.5%	0.7%
EBITDA	7,718	—	—	—	6,873	—	—	△10.9%

株式会社P&P

セグメント別 2025年3月期 実績

● 酒販事業

■ 売上高 1,312.8 億円 (前年同期比 △0.5%)
 ■ 営業利益 39.9 億円 (前年同期比 △10.3%)

● 外食事業

■ 売上高 292.2 億円 (前年同期比 1.9%)
 ■ 営業利益 14.2 億円 (前年同期比 △23.4%)

単位: 百万円

	2024年3月期(前期)				2025年3月期(当期)					
	酒販事業		外食事業		酒販事業			外食事業		
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	前期比	実績	構成比	前期比
売上高	131,980	—	28,674	—	131,287	—	△0.5%	29,220	—	1.9%
売上総利益	27,357	20.7%	19,043	66.4%	27,591	21.0%	0.9%	19,291	66.0%	1.3%
販管費	22,910	17.4%	17,182	59.9%	23,600	18.0%	3.0%	17,866	61.1%	4.0%
営業利益	4,447	3.4%	1,861	6.5%	3,991	3.0%	△10.3%	1,425	4.9%	△23.4%

株式会社P&P

連結財務状況 2025年3月期（バランスシート）

- 総資産 669.4 億円（前期末比 7.2%）
- 負債 296.1 億円（前期末比 2.5%）
- 純資産 373.3 億円（前期末比 11.3%）
- 自己資本 352.5 億円（前期末比 9.5%）

単位:百万円

	2024年3月期 期末	2025年3月期 期末	前期末比
流動資産	39,961	43,760	9.5%
固定資産	22,456	23,182	3.2%
流動負債	22,261	22,522	1.2%
固定負債	6,617	7,089	7.1%
純資産	33,539	37,330	11.3%
総資産	62,418	66,942	7.2%

■ 資産に関するポイント

現金及び預金 125.8億円（△9.5億円）
 商品及び製品 225.3億円（+35.4億円）
 有形固定資産 110.6億円（+4.5億円）
 のれん 13.1億円（△1.5億円）

■ 負債に関するポイント

買掛金 135.2億円（+29億円）
 短期借入金 31億円（△19億円）
 1年内返済予定の長期借入金 4.6億円（+1.8億円）
 長期借入金 29.6億円（+4.5億円）

■ 純資産に関するポイント

利益剰余金 256.7億円（+30.4億円）
 非支配株主持分 20.7億円（+7.4億円）

株式会社やまや

連結財務状況 2025年3月期（キャッシュ・フロー）

単位:百万円

	2024年3月期	2025年3月期
	連結累計	連結累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,445	2,807
税金等調整前当期純利益	5,318	5,261
減価償却費・のれん償却費	1,267	1,251
雇用調整助成金の未収	-	-
仕入債務の増加	312	2,908
その他合計	△1,452	△6,613
投資活動によるキャッシュ・フロー	△904	△1,780
固定資産の取得による支出	△931	△1,763
その他合計	27	△17
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,747	△1,977
短期借入金の純増減額	△2,000	△1,900
長期借入金の借入による収入	-	1,000
長期借入金等の返済による支出	△183	△386
配当金、その他の支出	△564	△691
現金及び現金同等物の増減額	1,793	△950
現金及び現金同等物の期首残高	11,745	13,539
現金及び現金同等物の期末残高	13,539	12,588

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益 52.6 億円

減価償却費 10.7 億円

のれん償却費 1.5 億円

棚卸資産の増減額 △35.4 億円

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出 △17.6 億円

差入保証金の回収による収入 1.8 億円

■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払額 △5.9 億円

株式会社ヤマダ

連結 業績予想

売上高	1,635.0 億円	(前年同期比 2.1%)
営業利益	55.3 億円	(前年同期比 1.9%)
経常利益	56.3 億円	(前年同期比 1.1%)
親会社株主に帰属 する当期純利益	36.4 億円	(前年同期比 0.1%)

単位: 百万円

	2025年3月期		2026年3月期		
	実績	構成比	業績予想	構成比	前期比
売上高	160,164	—	163,500	—	2.1%
営業利益	5,425	3.4%	5,530	3.4%	1.9%
経常利益	5,566	3.5%	5,630	3.4%	1.1%
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,644	2.3%	3,648	2.2%	0.1%

(2026年3月期予想セグメント別)

	酒販事業		外食事業	
	業績予想	前期比	業績予想	前期比
売上高	134,100	2.1%	30,100	3.0%

株式会社ヤマザキ

連結 2025年3月期 業績のポイント

当連結会計年度における当社グループ連結業績は、売上高が1,601億64百万円(前期比0.1%減)、営業利益が54億25百万円(同14.1%減)、経常利益が55億66百万円(同13.1%減)、親会社株主に帰属する当期純利益が36億44百万円(同0.8%増)となりました。

売上高は前期比0.1%減とほぼ横ばいとなりましたが、人件費や光熱費を中心とした固定費の上昇が利益を圧迫し、営業利益、経常利益は減少しました。また、特別損失および法人税等の計上が減少したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は増益となりました。

[酒販事業]

酒販事業における売上高は1,312億87百万円(前期比0.5%減)、営業利益は39億91百万円(同10.3%減)となりました。

当連結会計年度は、訪日外国人観光客の増加に伴うインバウンド需要の取り込みを図るため、「Japan.Tax-free Shop」の表示や外国語表記の説明を増やすなど、免税対応の強化に取り組みました。また、観光需要への対応として、店内全ての商品をギフトや手土産としてご利用いただけるよう、地域ごとの特徴ある商品の品揃えを強化しました。大地震や水害など自然災害への備えとして、1週間分の災害備蓄を推奨し、自分の好きなお酒や食品をローリングストックしていただけるよう備蓄の推進に取り組みました。オリンピックやワールドカップなどのスポーツイベントの開催を受け、フランスフェアを開催するなど世界各国の酒・食品を取り揃え、観戦需要に対応しました。2025年3月には、4月からのメーカー値上げ前の仮需があり、ビール類や缶チューハイを中心に販売が大きく伸長しました。55年ぶりに大阪で開催される大阪・関西万博に合わせて、全国31都府県353店舗のネットワークを活かし、全国のおいしいものを取り揃えた「やまや万博」も開催しています。

新規出店として、丸子店(福島県)、立川若葉町店(東京都)、下石田店(山梨県)、長森店(岐阜県)を開店しました。燕三条店(新潟県)は、商業施設の再開発に伴い移転し、燕店を開店しました。また、篠ヶ瀬店(静岡県)、今津店(兵庫県)、秋田業務店(秋田県)を閉店しました。これにより、2025年3月末における酒販事業の総店舗数は、353店舗(前年同期比1店増)となりました。

[外食事業]

外食事業における売上高は292億20百万円(前期比1.9%増)、営業利益は14億25百万円(同23.4%減)となりました。

外食業界におきましては、人流の改善、インバウンド消費の拡大等により需要は回復しているものの、物価高によりお客様の節約志向・選別志向が高まり、原材料費・物流費・光熱費・人件費の上昇なども相まって、事業を取り巻く環境は厳しいものになっております。

このような環境の中、当社子会社のチムニー株式会社では、創業40周年を迎え、当連結会計年度において、第1弾から第8弾の感謝祭を開催し、期間限定メニューや料理家とのコラボメニューはお客様から大変ご好評をいただきました。株式会社つぼ八では、地方郊外店舗において、より地域に密着した運営を実現するため、つぼ八店舗内に焼肉席を設けたハイブリッド店の展開を進め、地域のお客様からご好評をいただいています。また、メディア戦略、WEB・SNS販促を強化したことにより、インバウンド及び国内旅行団体、宴会の集客は堅調に推移しました。

店舗開発としましては、直営店8店舗、FC店2店舗を新規出店するとともに、店舗のブラッシュアップ(改装、業態転換、修繕等)を進めてまいりました。これにより、2025年3月末における外食事業直営店は、336店(前期比1店増)、飲食FC店は、286店(同15店減)となり、飲食店の総店舗数は、622店(同14店減)となりました。

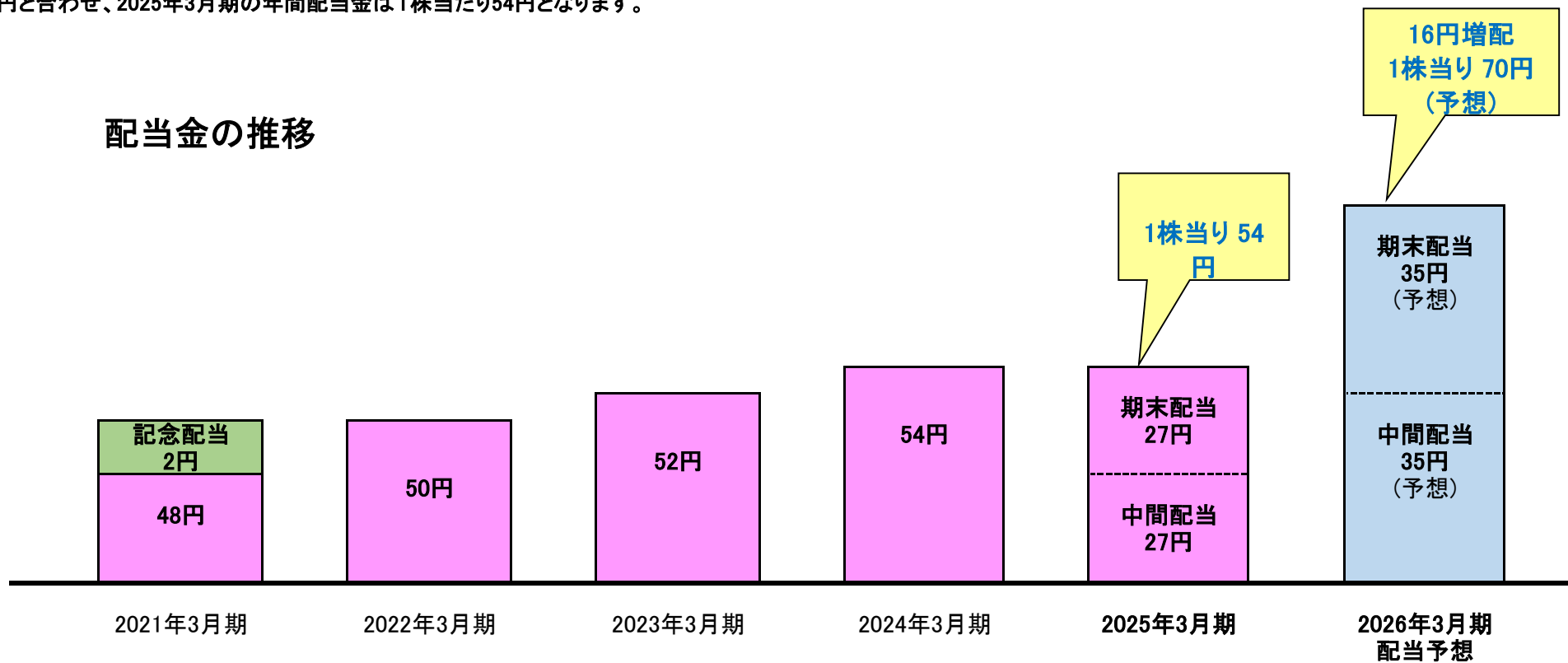
株式会社やまや

配当政策について

- 当社は、安定的な配当を継続することが配当政策上重要であると考えております。さらに、企業体質の一層の強化と今後の事業展開に備えるための内部留保の充実を勘案して、株主への配当を実施していくことを基本方針とし、中間配当と期末配当の年2回の配当を行うことにしております。

■ 2025年3月期の期末配当金につきましては、通期の連結決算業績を考慮し、1株当たり普通配当27円といたします。既に実施済みの、2024年9月30日を基準日とする中間配当金1株当たり普通配当27円と合わせ、2025年3月期の年間配当金は1株当たり54円となります。

配当金の推移



株式会社やまや

株主優待制度の廃止について

2025年5月15日（木）発表

（株主優待制度廃止の理由）

当社は、株主の皆様の日ごろのご支援にお応えするとともに、より多くの皆様に当社株式を保有いただくことを目的として、株主優待制度を実施してまいりました。しかしながら、株主の皆様に対する公平な利益還元のあり方について慎重に検討を重ねた結果、配当を通じた利益還元に一本化することを決定し、株主優待制度を廃止することといたしました。来期以降は、株主優待に充てていた原資をすべて株主の皆様へ公平に配当金として還元し、加えて、従来よりも配当水準を引き上げる予定にしております。

<ご参考>

株主の皆様への利益還元を従来の配当＋優待から配当に一本化することで、持株数による利回りは以下のとおりとなります。

■1株あたり配当54円＋優待の利回り

保有株式数	年間配当金	配当＋優待	利回り
100株	5,400	11,400	4.07%
200株	10,800	16,800	3.00%
300株	16,200	22,200	2.64%
400株	21,600	27,600	2.46%
500株	27,000	33,000	2.36%
600株	32,400	38,400	2.29%
700株	37,800	43,800	2.23%
800株	43,200	49,200	2.20%
900株	48,600	54,600	2.17%
1000株	54,000	60,000	2.14%

■1株あたり配当70円の利回り

年間配当金	利回り
7,000	2.50%
14,000	2.50%
21,000	2.50%
28,000	2.50%
35,000	2.50%
42,000	2.50%
49,000	2.50%
56,000	2.50%
63,000	2.50%
70,000	2.50%



※利回りは株価2,800円で算出

株式会社やまぐち

業態(屋号)別店舗数について
2025年3月末

〈酒販事業〉	総店舗数	うちダイソー併設店舗数
やまや	347	47
業務店・通販	6	0
酒販計	353	47

〈外食事業〉	総店舗数	うち直営店	うちFC店
さかなや道場	100	73	27
はなの舞	97	43	54
コントラクト	95	95	0
安べゑ	27	26	1
魚星	22	21	1
牛星	15	11	4
他業態(チムニー)	119	62	57
つぼ八	125	3	122
伊藤課長・焼肉の達人	10	1	9
茜どき	5	0	5
他業態(つぼ八)	7	1	6
外食計	622	336	286

グループ総店舗数	975
----------	-----

株式会社やまや

やまや

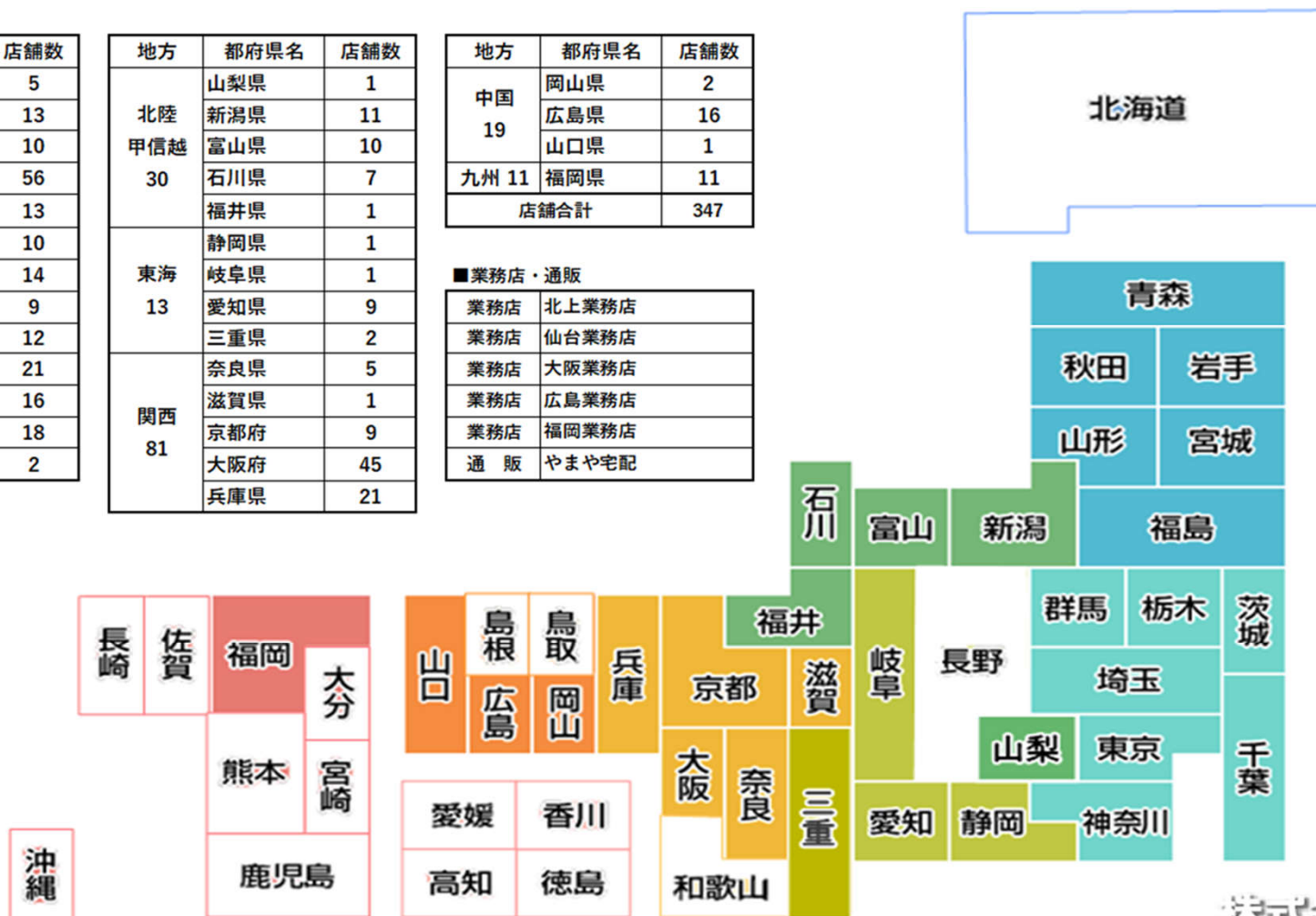
全国31都府県に347店舗のネットワーク（2025年3月末現在）

地方	都府県名	店舗数
東北 107	青森県	5
	岩手県	13
	秋田県	10
	宮城県	56
	山形県	13
	福島県	10
関東 92	茨城県	14
	群馬県	9
	栃木県	12
	埼玉県	21
	千葉県	16
	東京都	18
	神奈川県	2

地方	都府県名	店舗数
北陸 甲信越 30	山梨県	1
	新潟県	11
	富山県	10
	石川県	7
	福井県	1
東海 13	静岡県	1
	岐阜県	1
	愛知県	9
	三重県	2
関西 81	奈良県	5
	滋賀県	1
	京都府	9
	大阪府	45
	兵庫県	21

地方	都府県名	店舗数
中国 19	岡山県	2
	広島県	16
	山口県	1
九州 11	福岡県	11
店舗合計		347

業務店	北上業務店
業務店	仙台業務店
業務店	大阪業務店
業務店	広島業務店
業務店	福岡業務店
通 販	やまや宅配



株式会社P3P

外食事業 店舗ネットワーク



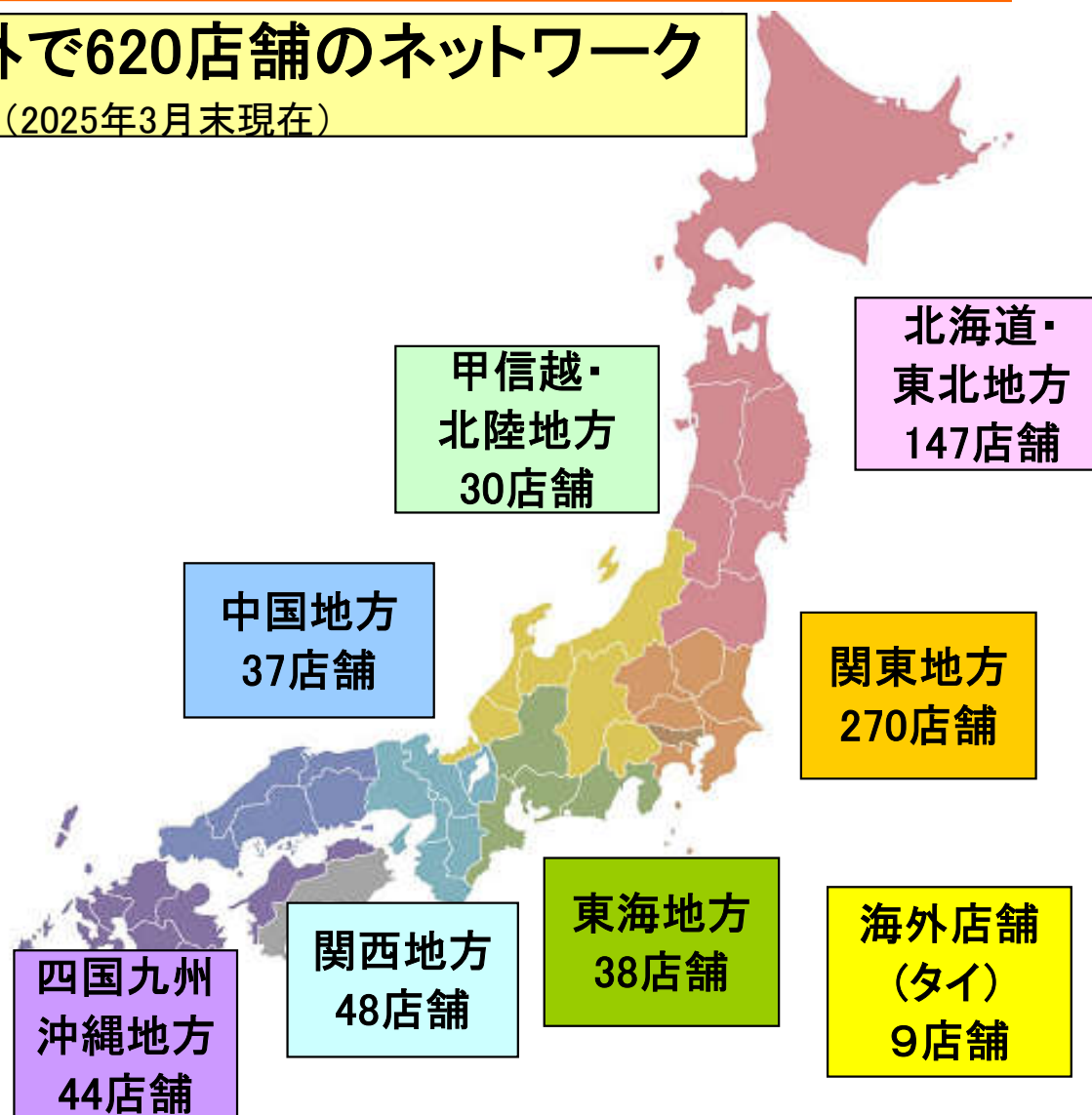
国内外で620店舗のネットワーク

(2025年3月末現在)

外食事業合計	直営店	FC店	総店舗
	336 店	286 店	622 店

チムニー(株)	直営店	FC店	合計
さかなや道場	73	27	100
はなの舞	43	54	97
コントラクト	95	0	95
安べゑ	26	1	27
魚星	21	1	22
牛星	11	4	15
その他	62	57	119
合計	331	144	475

(株)つば八	国内		海外	合計
	直営店	FC店	FC店	
つば八	3	115	7	125
茜どき	0	5	0	5
伊藤課長・焼肉の達人	1	9	0	10
旨居屋 新八	0	2	0	2
牛たん ささ川	1	2	0	3
その他	0	0	2	2
合計	5	133	9	147



株式会社やまや

重要な連結子会社の状況

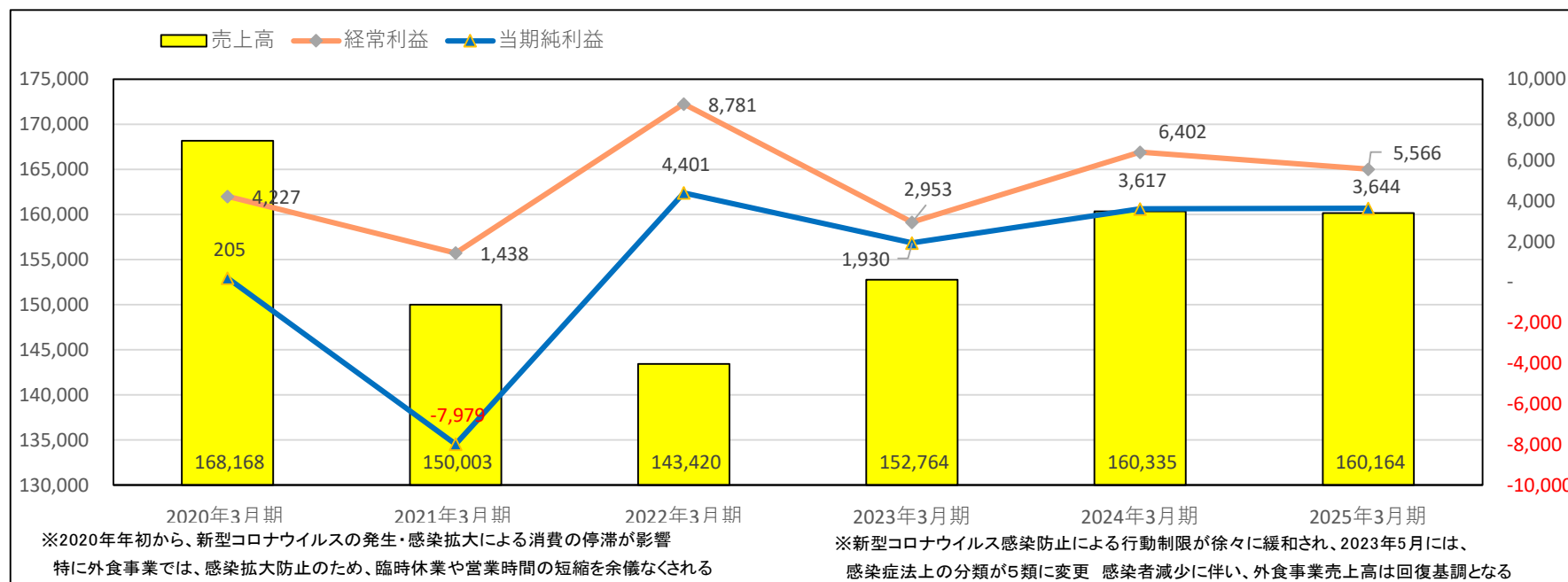
名称	主要な事業内容
やまや東日本(株)・やまや関西(株)	販売： 酒類を中心とした嗜好品の専門店「酒のやまや」を営業
やまや商流(株)	物流： グループ店舗の商品調達、物流及び卸販売
大和蔵酒造(株)	製造： 「雪の松島」等の清酒を製造
チムニー(株)	飲食： 居酒屋「はなの舞」・「さかなや道場」等を営業
(株)つぼ八	飲食： 居酒屋「つぼ八」・「伊藤課長」等を営業

株式会社やまや

連結決算推移

単位: 百万円

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
売上高	168,168	150,003	143,420	152,764	160,335	160,164
営業利益	4,163	-251	643	2,837	6,319	5,425
経常利益	4,227	1,438	8,781	2,953	6,402	5,566
当期純利益	205	-7,979	4,401	1,930	3,617	3,644



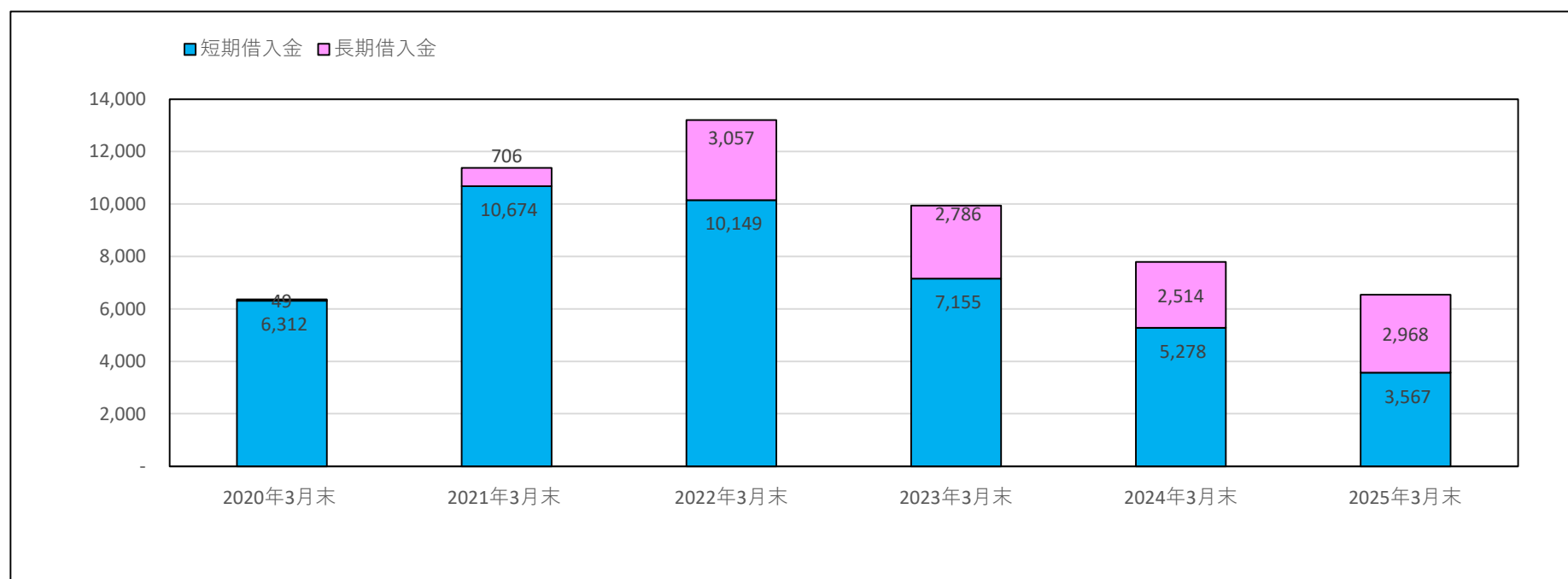
店舗数推移	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
酒販店舗数	333	341	345	351	352	353
外食店舗数 直営店	519	411	376	355	335	336
FC店	436	384	345	313	301	286
グループ店舗数	1,288	1,136	1,066	1,019	988	975

株式会社PまP

連結 借入金の状況

単位: 百万円

	2020年3月末	2021年3月末	2022年3月末	2023年3月末	2024年3月末	2025年3月末
短期借入金	6,312	10,674	10,149	7,155	5,278	3,567
長期借入金	49	706	3,057	2,786	2,514	2,968
合 計	6,361	11,381	13,206	9,941	7,792	6,535



株式会社ヤマダ

第2部:セグメント別 2025年3月期 の業績

酒販事業 2025年3月期 実績

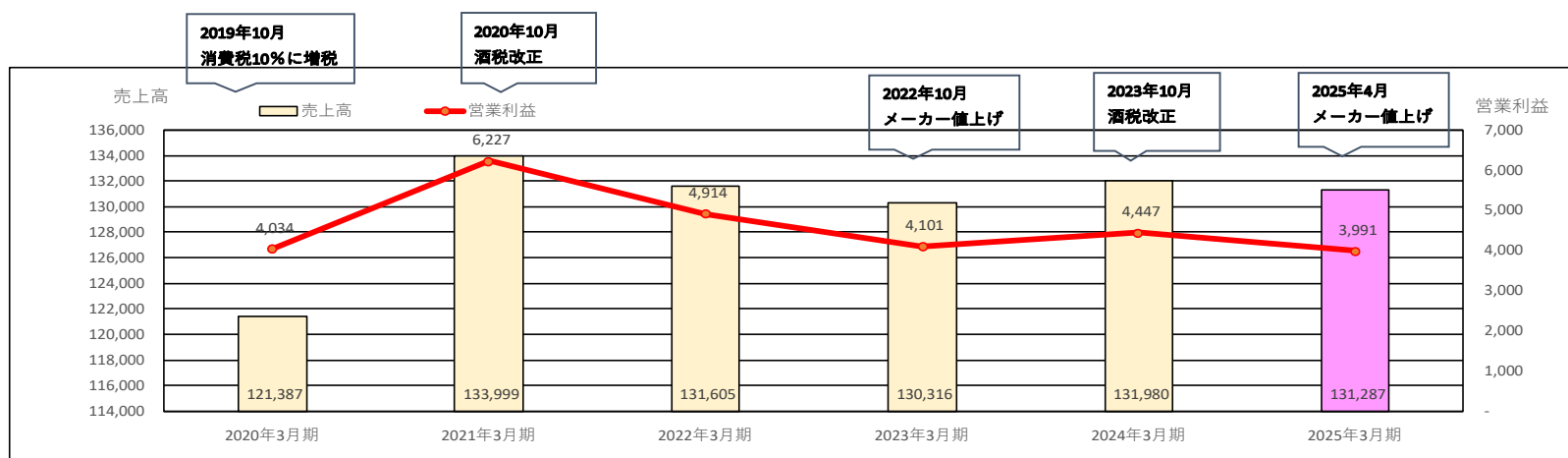
- 売上高 1,312.8 億円 (前年同期比 △0.5%)
- 営業利益 39.9 億円 (前年同期比 △10.3%)

単位:百万円

	2024年3月期(前期)		2025年3月期(当期)		
	実績	構成比	実績	構成比	前期比
売上高	131,980	-	131,287	-	△0.5%
売上総利益	27,357	20.7%	27,591	21.0%	0.9%
販管費	22,910	17.4%	23,600	18.0%	3.0%
営業利益	4,447	3.4%	3,991	3.0%	△10.3%

単位:(百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
売上高	121,387	133,999	131,605	130,316	131,980	131,287
営業利益	4,034	6,227	4,914	4,101	4,447	3,991



株式会社P&P

外食事業 2025年3月期 実績

- 売上高 292.2 億円 (前年同期比 1.9%)
- 営業利益 14.2 億円 (前年同期比 △23.4%)

単位:百万円

	2024年3月期(前期)		2025年3月期(当期)		
	実績	構成比	実績	構成比	前期比
売上高	28,674	—	29,220	—	1.9%
売上総利益	19,043	66.4%	19,291	66.0%	1.3%
販管費	17,182	59.9%	17,866	61.1%	4.0%
営業利益	1,861	6.5%	1,425	4.9%	△23.4%

株式会社P&P

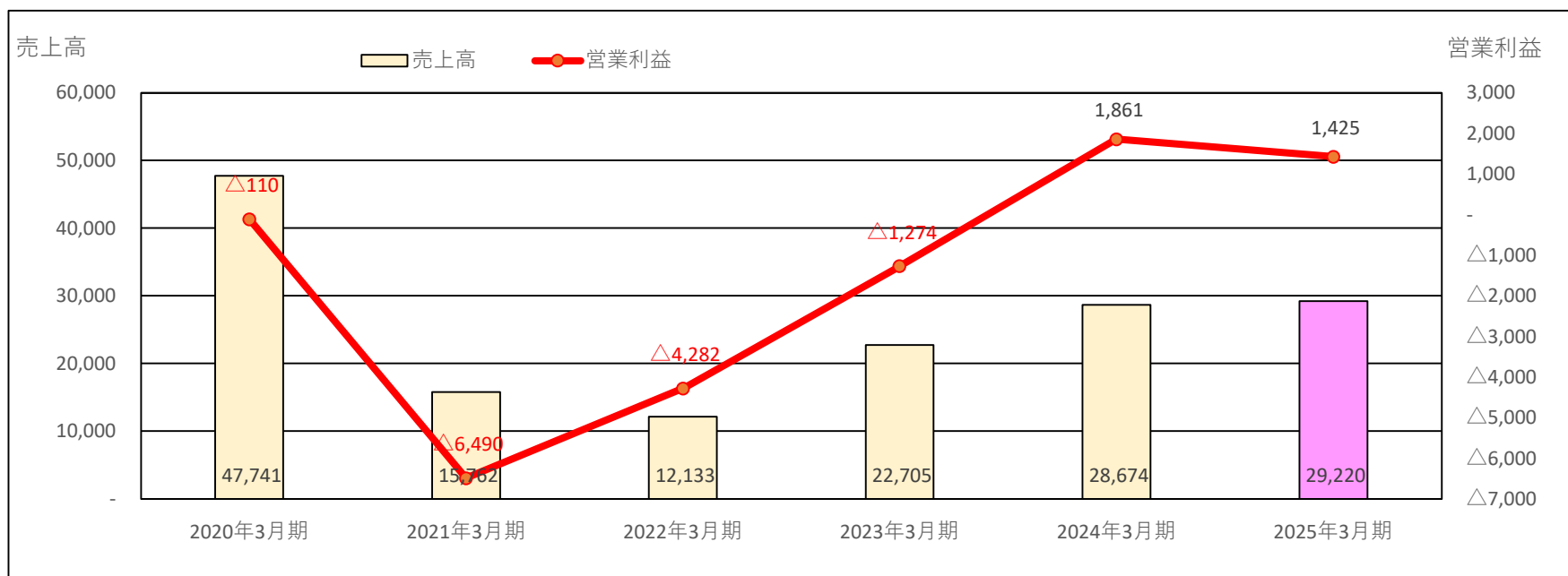
外食事業 決算推移

単位:(百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
売上高	47,741	15,762	12,133	22,705	28,674	29,220
営業利益	△110	△6,490	△4,282	△1,274	1,861	1,425

※2020年年初から、新型コロナウイルスの発生・感染拡大による消費の停滞が影響
特に外食事業では、感染拡大防止のため、臨時休業や営業時間の短縮を余儀なくされる

※新型コロナウイルス感染防止による行動制限が徐々に緩和され、2023年5月には、感染症法上の分類が
5類に変更 感染者減少に伴い、外食事業売上高は回復基調となる



株式会社やまや

サステナビリティ活動

やまやグループは、「お酒」と「食」を通じて「持続可能な社会の実現」に貢献します



環境貢献

- 3 R推進の取り組み ビール瓶等リターナブル瓶の回収、PETボトル等リサイクルの回収
- 温室効果ガス削減に向けた取り組み LED照明への更新、再エネ100%電力の利用
- 容器包装資材削減の取り組み 商品の過剰な包装を省きプラスチック30%削減

地域貢献

- ネーミングライツ契約 2024年4月：向洋海浜公園（仙台市）→やまやシーサイドパーク
- 海岸清掃 「海をきれいにする会」活動：2024年6月、7月やまやシーサイドパーク、9月鳥の海公園
- 地域清掃 店舗近隣の清掃活動（毎月20日クリーンデー）

社会貢献

- 楽天イーグルスキャップ贈呈 東北楽天野球団を通して東北6県約6万人の新小学1年生へ
- 鹿児島県と連携協定 「本格焼酎をはじめとする鹿児島県産品の認知度向上及び販路拡大に関する連携協定」
- 障害者雇用 障害者雇用比率 2.52%(2025年3月末)
- 店頭募金活動 能登半島地震支援募金、台湾地震支援募金、ロサンゼルス山火事支援募金など
- 海をきれいにする会 令和7年岩手県大船渡市災害（林野火災）見舞金100万円寄付
- ローリングストック推進 1週間分の「マイフェイバリット・ローリングストック」を推奨
- 健康経営優良法人2025大規模法人部門認定



株式会社やまや

注意事項

本資料は、当社公表の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、現時点での入手可能な情報を元に当社が判断した、計画・見通し・戦略など、将来の業績に関する見通しにはリスクや不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等は、さまざまな要因により、見通しと大きく異なる結果となり得ることをあらかじめご了承ください。

掲載内容には細心の注意を払っておりますが、当社および情報提供元は、情報の完全性、正確性、確実性、有用性、その他の保証を行うものではありません。掲載された情報の誤りによって生じた障害等に関して、当社は事由の如何を問わず一切責任を負いません。

なお、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。実際の投資の際は、当情報に全面的に依拠することなく、皆様ご自身のご判断でお願い申し上げます。